

平成 23 年度第 1 回信州大学 FD ショートセミナー/新学期スタートアップセミナー
新学期をスムーズにスタートさせよう！

担当：全学教育機構准教授 松岡幸司
(高等教育研究センター兼任)
maulwurf@shinshu-u.ac.jp

新年度最初の FD セミナーは、「新学期スタートアップセミナー」として、学期の開始時に留意すべき点をテーマとします。

学期が進んでいくうちに、「これを伝えておけばよかった」「学生たちはこの点を認識しているのだろうか」というような疑問を抱いたことはありませんか？あるいは、「学生はシラバスも読んでいないのか」「こんなことは言うまでもないマナーではないか」と憤り(?)を感じたことは？

また、新任教員の方々は、最初の授業あるいは始まって数回の授業で、どのように軌道に乗せていけばよいのか、と、頭を悩ませていませんか？

本セミナーでは、上記のような点について、実践例をまじえながら参加者のみなさんと一緒に考えていきたいと思えます。

コンテンツ

- I. 導入・概説：FD とは何か？
- II. 現状：学生は不安
- III. 初回授業にむけて：授業開始前に考えておきたいこと
- IV. 授業運営：軌道に乗せるには？
- V. まとめ：質疑応答

本日の内容は、後日「高等教育コンソーシアム信州」のサイトにアップされます。

⇒ <http://www.c-snet.jp/> → 「第 22 回 K³ 茶論」のコンテンツ

I. 導入・概説：FD とは何か？

1) FD とは？

FD (Faculty Development) :

- ・大学の教員の仕事 = 「研究」・「教育」・「大学運営」 ⇒ これらが **職務**
 - 「研究に関する _____」
⇒ 研究者としての資質向上
 - 「教育に関する _____」
⇒ 教育者としての資質向上 = 主に FD と呼ばれている部分
 - 「大学運営に関する _____」
⇒ 大学運営を行う上での資質向上

II. 現状：学生は不安

1) 学生は不安：08 年度信州大学共通教育に関するアンケート集計結果から

- ・入学後、授業を受けるにあたり不安を感じたことがありましたか？
⇒ あった+少しあった = _____%
- ・不安の内容は？
⇒ 大学での授業の受け方 = 139/516 人 (_____%)

2) 学び方の変化

- ・高校まで：

- ・大学に入ってから：

これは、初年次に限ったことではない。

→ 共通教育から専門課程に進級する際にも、同じようなことが言える

↓

- ・大学（初年次/専門課程）で学ぶにあたって
⇒ 学生は、学び始める前に学び方を学ぶ必要がある！
= 教員は、 _____

☆☆☆個人作業☆☆☆

ここまでの内容を踏まえて、初回の授業にはどんな学生が来るとおられますか？
想像して、なるべく具体的に書き並べてみてください。

Ⅲ. 初回授業にむけて：授業開始前に考えておきたいこと

1) 生徒と学生

・生徒：

・学生：

⇒

☆☆☆個人作業☆☆☆

初回の授業に来た学生に、どのような態度で接しようと思いますか？
想像して、なるべく具体的に書き並べてみてください。

2) 初回の授業に向けて(1)：心構え

- ・常識？：

- ・自分の学生時代を振り返って：

3) 初回の授業に向けて(2)：具体的な準備（参考資料 1, 2）

- ・コンテンツ：
 - オリエンテーション：
シラバスの説明：
補足：
 - 配布物：
何を学生に持たせたいか？
 - 約束事：
- ・流れ：
 - 導入：
 - メインテーマとサブテーマ：
 - 確認：
 - 次回に向けて：
- ・履修についての心構えと成績評価の方法について
 - 授業の形式・スタイル・流れ
 - 履修にあたって望むこと
 - 出欠席
 - 成績評価の方法
 - 単位とは？

4) その他

- ・LMS（Learning Management System：eAlps）の活用

IV. 授業運営：軌道に乗せるには？

1) 初回の授業において

- ・教員だけでなく、実は学生も緊張
- ・対話（双方向性）を意識してみる
 - レスポンスカードの活用（← 出欠席管理にも使える）

2) 授業のスタイル

- ・教員と学生の共通認識

3) 授業のサイクル

- ・「導入～まとめ」までの流れ
- ・配布プリントの活用
- ・メリハリ：コンテンツ，個人/グループ作業

4) 学生の意識化

- ・授業科目
- ・授業日のテーマ
- ・授業の各コンテンツ

V. まとめ：質疑応答

参考資料 2：簡易教案例

| | |
|----------------------|---|
| 授業日：10月18日 | |
| 配布プリント | |
| ・ | 練習プリント（教科書別冊問題集 p.40 練習問題 2） |
| 授業内容（流れ・テーマ・確認） | |
| 1. | 導入：小テスト「分離動詞」&解説（解説の際は，隣りと答案を交換する ⇒ 回収） |
| 2. | メインテーマ：分離動詞の確認 ⇒ 語法の助動詞の語順（können を例に）「枠構造」の確認 |
| 3. | 例題で確認&解説：教科書 p.31 例題 2 |
| 4. | 練習&解説：教科書 p.33 練習問題 2 |
| 5. | まとめ：今日の確認と次回へのつながり（自習と宿題の指示） |
| 今日の情報：ドイツのレストランでは... | |
| 宿題・予復習 | |
| ・ | 宿題：練習プリント p.40 練習問題 2 ⇒ 次回授業時の冒頭に答え合わせ |
| ・ | 「枠構造」について復習しておく．教科書 p.32 を読んでおく． |
| 注意事項・授業後のコメント | |
| | 思ったより「枠構造」に対する理解が浅かった... 解説プリントを eAlps へアップ ⇒ 次回，要確認！ |

参考資料 1：初回授業時の配布プリント例

2010 受講にあたっての注意事項 (ドイツ語 [文法] I)

I. 成績評価について

1. 前期の前後半それぞれの成績のつけ方 (100 点) = 平常点 (50 点) + 試験点 (50 点)
2. 平常点 (50 点) = (出席状況) + (小テスト・口頭試験)
3. 試験点 (50 点) = (試験の得点率) × 50
4. (中間試験まで=50 点) + (中間試験の後=50 点) = 100 点

II. 授業参加についての注意事項

1. 学習方法について

- ・ **復習に力を入れて下さい**。その際、理解できた点・理解できなかった点をはっきりさせ、わからない事などあったら、次回の授業時に、必ず質問しよう！
- ・ 新しい言語を学習する際は、声に出して読む事がとても重要です。幸いドイツ語は他の言語に比べて読みやすいので、**毎日のように音読しよう！**
- ・ NHK のテレビ・ドイツ語会話やラジオ・ドイツ語講座なども活用すると良いです。
- ・ 課題が出た場合には、積極的にやろう！わからない所は、「**なぜ・どこがわからないのか？**」を**はっきりさせる**のも、課題をやる際に大切な事です！そこまでやってくれば、問題がわからなくても、平常点に加算されます！

2. 授業に参加する際の態度について

- ・ 授業は君達のためのものなので、説明された事がわからなかったり、理解しにくかったりしたら、必ず質問するなり、**何らかの意思表示をして下さい！**
- ・ 初めて学習する言語なんだから、「**わからなくて当たり前！**」くらいのつもりで、質問などは遠慮しないように！みんなの代わり、と思って、どしどししよう！
- ・ 遅刻は極力避けるように！授業の妨げになり、他の人の迷惑になります。やむを得ず遅れてしまった場合は、静かに後ろから教室に入って来よう！
- ・ 授業中は、**携帯電話の着信音を切っておくこと！**
- ・ 休んだ場合は、他の人に授業内容を聞いたり、**e-Alps(e-Ches)**で確認したりして、自分で補っておくこと。もちろん次の授業時間にわからなかった事を質問するのは歓迎です！

3. その他

- ・ 語学の学習には得意・不得意の個人差があるのは僕自身の経験からわかっていますが、授業中に細かく気を配るつもりなので、苦手な人も積極的に授業に参加して欲しいです。
- ・ ドイツ語の向こうには、ドイツ人の姿や心が見えます。そういうものを意識しながら勉強すると、興味がわくかもしれない...
- ・ 真面目で、リラックスした楽しい授業を展開できるように努力するつもりです。そのためには、君達の協力や提案が必要です。だから、遠慮なく質問や意見を出して行って欲しいです。一緒に楽しく「ドイツ語」して行こう！
- ・ **質問は、E-mail で受け付けます。**(携帯からのメールも OK！ただし受信設定に注意！)

メールアドレス：maulwurf@shinshu-u.ac.jp

メール送信の場合は、①件名を必ず入れる！ ②本文に受講授業名と名前を記す！ こと。

ホームページ (mixi やってます ^^)

もぐらのページ：http://www.maulwurf.jp/